

愛高組新聞

JTU RENTAI

発行所 〒460-0017 名古屋市中区松原二丁目 10-3 愛知社会文化センター内

愛知公立高等学校教職員組合

<http://www.ne.jp/asahi/jtu/aikoso2/>

TEL 052-684-4312

FAX 052-684-4314

rentai@aqua.ocn.ne.jp



URL(新)



e-mail



鞆の浦 (広島県・福山市)

一般会計総額2兆9413億円

2025年度、愛知県当初予算案

愛知県は2月10日、一般会計2兆9413億円（対前年度5・2%増）の25年度当初予算案を発表しました。

景気動向と財政状況

県の分析は、次のとおりです。

① 現在の我が国の景気は、一部に足踏みもみられるものの、緩やかに回復している。

② 先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されるが、欧米の高い金利水準の継続や中国の不動産市場の停滞など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

③ 25年度の県税収入は、企業収益の減少による法人二税の減収を見込んでいるが、個人所得の増加による個人県民税の増収が見込まれ、県全体としては、今年度と同水準の税収を見込んでいる。

④ 一方、歳出では、医療・介護・子育てなどの扶助費や人件費等の義務的経費が増加することなどから、25年度当初予算の編成にあたっては、依然として多額の収支不足が見込まれた。

予算編成

基本的な考え方を次のように述べています。

① 24年度の財源確保等により、財政調整基金・減債基金の取崩しを全額取り止め、25年度に再び多額の基金取崩しを計上して収支不足を解消した。
② イノベーション創出の好循環を生み出す成長エンジンとして国の発展をリードし、愛知を発展させるための編成を行った。

教育委員会所管分

教育委員会所管分の予算は、約4910億円（対前年度4・5%増）となっています。
項別の前年度比較は、総務費13・8%増、小学校費1・6%増、中学校費2・5%増、高等学校費3・9%減、特別支援学

校費17・7%増、生涯学習費62%増、保健体育費5・8%増です。

教育委員会予算の主要事項

- ① 小学校1年から中学校1年までの35人学級の実施
- ② 小学校の教科担任制の推進
- ③ 中高一貫第一次導入校の開校と第二次導入校の建設
- ④ 全日・昼間定時・通信制を行き来して学べる「フレキシブルハイスクール」の開校
- ⑤ とよはし夜間中学校の開校、とよた・こまき・いちのみや中学校（26年度開校）の整備
- ⑥ 肢体不自由特別支援学校（名古屋市天白区）・知的障害特別支援学校（豊田市）の建設工事（27年度開校）
- ⑦ 障害のある幼児児童生徒にエレベーター整備、看護師配置の拡充
- ⑧ 体育館・武道場の空調整備の継続
- ⑨ 外国人児童生徒への学習・就労支援
- ⑩ スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの配置拡充

フレキシブルハイスクールとは

全日・昼間定時・通信制の三課程を一つの学校に置き、三課

程間を行き来する学び方が可能です。本年4月に、佐屋・武豊・豊野・御津あおばの4高校に開設されます。

体育館・武道場の空調整備

- ① 高等学校
24～27年度の4年間で整備を完了するものです。25年度は、34校71棟が対象です。
- ② 特別支援学校
23～25年度の3年間で整備を完了するものです。25年度は、2校2棟がリース方式、1校1棟が工事方式で整備されます。

エレベーター整備

名古屋盲学校と岡崎盲学校で実施設計が行われます。

小型通訳機

外国人生徒が多い高校28校と特別支援15校に多言語対応小型通訳機が配備されます。

総合教育センター移転

現在、東郷町にある総合教育センターが、岡崎市美合町に移転し、26年4月に開所します。引き続き、改修・増築工事が行われます。25年度の予算額は32億円です。

20秒で読めるルーヴル

H.Y.

42.壊れた甕



2025年度 県立学校教職員定数と予算額

1 教職員定数

(1) 高等学校

① 生徒数・学級数

	2025年度	2024年度	増減
生徒数	115,281	115,236	+45
学級数	3,007	3,028	▼21

② 職種別定数

	2025年度	2024年度	増減
校長・教諭等	7,552	7,467	+85
養護教諭	259	257	+2
事務職員	565	562	+3
実習教員	532	533	▼1
その他	61	70	▼9
計	8,969	8,889	+80

(2) 特別支援学校

① 児童生徒数・学級数

	2025年度	2024年度	増減
生徒数	6,635	6,506	+129
学級数	1,514	1,494	+20

② 職種別定数

	2025年度	2024年度	増減
校長・教諭等	3,220	3,182	+38
養護教諭	67	67	0
事務職員	123	123	0
実習教員	67	68	▼1
その他	258	256	+2
計	3,735	3,696	+39

(3) 県立中学校

① 生徒数・学級数

	2025年度	2024年度	増減
生徒数	370		+370
学級数	12		+12

② 職種別定数

	2025年度	2024年度	増減
校長・教諭等	54		+54
養護教諭	5		+5
事務職員	5		+5
栄養教諭	1		+1
計	65		+65

2 予算額

(単位：千円)

		2025年度	2024年度	前年度比
旅費	高等学校	600,242	600,936	▼0.1%
	特別支援学校	162,996	162,724	+0.2%
	県立中学校	2,104		
	計	765,342	763,660	+0.2%
その他経費	高等学校	5,499,842	5,580,630	▼1.4%
	特別支援学校	3,583,124	3,469,958	+3.3%
	県立中学校	113,679		
	計	9,196,645	9,050,588	+1.6%

高校の定数増の主な原因は、フレキシブルハイスクールの設置と短時間再任用者数の減少によるものです。

特別支援学校の定数増の主な原因は、学級数の増と短時間再任用者数の減少によるものです。予算については、旅費の現行水準の維持と燃油価格の高騰に伴う必要額の確保が限界であったようです。

れ ん ら く

能登地域では、2024年1月1日16時6分に発生した地震の復旧も終わらないなか、9月21日の記録的な豪雨でさらに被害が拡大したうえ、大雪被害も受け、元の生活に戻れる見通しも立てられないのではないかと心が痛みます。物理的な被災のみならず、特に、メンタル面に与える影響が心配されます。愛高組は、被災地の一日も早い復興と被災された方々の安心を心よりお祈りします。

赤ペン

558

音楽界において今年は一バーサリイヤーとなる人物が目白押しであるが、そのなかに生誕百年となるピエール・ブレーズがあるが、音楽ファンの間では指揮者としての方が馴染み深い。とりわけストラヴィンスキーの作品解釈では定評があり、そのレコードCDは評論家からも決定盤とされている。

ところが、晩年の活動ぶりは評価が大きく分かれている。「スコアを細部まで完璧に読み込み、さらに円熟

◎ これからのおま運動の日程

- 2/22(土) 第34回日教組人権教育実践交流会
- 2/27(木) 24年度第3回部活動検討委員会
- 2/28(金) 24年度第2回高校代表者会議
被災71周年ビキニで-集会
- 3/6(木) 25春闘・3・8国際女性デー統一集会
- 3/8(土) 3.8さよなら原発全国集会
- 3/13(木) 日教組諸会議
- 3/14(金) 日教組第168回中央委員会

味を増した」と言うものから、「曲の本質に迫る鋭敏さ大胆さが薄れて凡庸な解釈となり老醜をさらしている」とまである。
昨年愛高組が実施した県立高校の非常勤講師へのアンケートで、その平均年齢が60歳を超えているのが明らかになった。偏にそれは待遇面に問題があることを浮き彫りにしているが、肝心の生徒の評価は果たしてどうなのか、私自身も円熟か老醜なのか気になる授業評価制度の導入はいかがであるか。(H)

遺珠点点 88

先日、必要に迫られて久しぶりに大きい書店に行った。がっかりなことに、目的の本はなかった。一昔前ならおそらく手に入ったと思うが、現在の店頭はコミックやタレント本や資格関連参考書、華々しく宣伝している新刊本の類が充実している代わりに、私が欲する比較的地味な書籍は驚くほど置薄だ。
本に導かれ、本に癒された私は、今の時代に置いて行かれている。

しかし、この後用事のあった私は、この際だから時間つぶしにぐるつといるような書架を眺めてみるかと、書店内散歩をすることにした。
値段も見ずに何でも購入してきた時と違い、今は年金生活、本に欲しい本しか買わない。それだけでなく膨大な蔵書整理を敢行しているさなか、新たに買いたい足すなどとは愚の骨頂……と負け惜しみを呟きつつ、きれいな装丁の本にちよつと手を伸ばしてみる。

地図の絵本、夢があるなあ。
あ、これが昨今評判の『もうじきたべられるほく』か。立ち読みで感動させていたたく。
探している作家の本は全滅なかつたけど、夏目漱石はこの文庫もきちんとそろえているんだなあ。さすがだ。
あれ？と思わず立ち止まって体を向けたのは、詩の書架だつた。
『誰も気づかなかつた』の文字

を見たからだつた。長田弘の詩集、みずす書房。
20年ほど前に、愛高組新聞表紙に書いてくれた詩の題名、今も私の机の前の棚に、当時切り抜いた詩が褐色に色を変えて貼られている。

初めて読んだときに、ほんとうにしみじみと心に入ってきた詩だつた。自分の中にある、人に見せないものを詩人と共に語りあつたような、そんな気分分、私は時にこの切り抜きの前で詩を眺めた。今も。

素つ気ないほど装飾性のない小さな詩集、それを私は手に取つてみた。没後五年、と冊紙にある。長田弘が亡くなったのは二〇一五年。この本は二〇二〇年に刊行されていたのだ。
開いてみると懐かしい感情がよみがえる。

私が特に愛着した一篇は、「誰も気づかなかつた VI」だ。その頁を開いて、私は「あつ」と驚いた。愛高組新聞の紙面で、23行の詩はひとまとまりになっていた。しかし、詩集では、最初の1ページに2行、次のページに2行、その次のページに2行、4ページ目に4行、5ページ目に3行、6ページ目に5行、7ページ目に最後の5行、そうなつていった。

詩が愛高組にもたらされたとき、一続きのものだったのかもれない。
当時、巻頭に詩を載せるといふ破格の体裁をとる愛高組新聞は、日教組の組織を再構築して

いくどの私たちの気概の表れたつた。詩人たちから頂いた詩はどれも美しく新しかった。あらためて、この詩をもう一度読む。

誰も気づかなかつた VI

怒っている人だつて笑うときがある。
けれどもその人は笑わなかつた。
不機嫌な人だつて笑うときがある。
けれどもその人は笑わなかつた。

悲しい人だつて笑うときがある。
けれどもその人は笑わなかつた。
苦しんでいる人だつて笑うときがある。
ペシミストだつて笑うときがある。
頑なな人だつて笑うときがある。
けれどもその人は笑わなかつた。
眠れない人だつて笑うときがある。
いつも黙っている人だつて笑うときがある。

日の光だつて笑うのだ。
陽だまりの猫だつて笑うのだ。
木々の枝々だつて笑うのだ。
ハシブトガラスだつて笑うのだ。
けれどもその人は笑わなかつた。

その人が逝つたのは冬の寒い日だつた。
そしてじぶんの葬儀の日にそこにはいないのがうれしいというように
その人ははじめて笑つたのである。
その遺影の中で。